

水の恵みカードNo. 62

カード名	きそがわようすいのうびだいにちく 木曽川用水（濃尾第二地区）のなばな
都道府県	三重県
市町村	三重県桑名市長島町
水の恵み施設	きそがわおおせき 木曽川大堰
所在地	愛知県稲沢市祖父江町馬飼寺東26-1

三重

ナバナ

アブラナ科 アブラナ属

きそがわのうびだいにちく

木曽川用水(濃尾第二地区)のなばな

三重県桑名市長島町



ブランド野菜
「三重なばな」

●ポイント解説●

長島町における「なばな」の栽培の歴史は古く、江戸時代に灯火の燃料として盛んに栽培され、「江戸の灯り」は伊勢菜種でもつ」と言われるほどでした。

「なばな」が食用として広まったのは、昭和30年代に若菜を市場に出荷したところ好評であったことにはじまり、昭和58年木曽川用水の通水開始後も広く栽培されています。

日本一の「なばな」の生産量を誇る三重県では、平成元年に「三重なばな」としてブランド化が進められ、美し国「みえの伝統野菜」として登録されています。

詳しい情報は (左)資源開発 水の恵み (右)国産国産

●桑名市役所 農林水産課 ●JAみえきた

JA 桑名市 田代町 みえきた

Ver.1.0(2020.11)

水の恵み施設 HW

きそがわおおせき
木曽川大堰



木曽川大堰基本データ HW

○形式:鉄筋コンクリートフローティングタイプ

○延長:堰長587m 堤防間距離735m

○流量:農業用水25.63m³/s

水道用水 2.90m³/s 工業用水13.30m³/s

きっかけ

木曽川の水を総合的に開発利用するため、昭和43年に「木曽川水系の水資源開発基本計画」が決定され、木曽川総合用水事業が実施されました。

この事業により、水源施設の岩屋ダムと取水施設の木曽川大堰等が建設されました。

一コマメモ

長島町への農業用水の送水は、木曽川大堰にて取水し、海部幹線水路を流下させ、水管橋にて木曽川を横断した後に各農地へと配水されています。

(62)

カード配布場所	配布場所の住所	配布日時	ホームページURL
桑名市長島地区市民センター (長島町土地改良区)	桑名市長島町松ヶ島38番地	9：00～17：00（土日祝祭 日、年末年始を除く）	https://www.city.kuwana.lg.jp/shisetsu/shimincenter/002.html